

# 三商レポート

## 第41話「謙虚に学ぶ」

(株) 三商 内藤 雄

NPO 法人相続アドバイザー協議会（理事長：芳賀則人）主催の第13期「相続アドバイザー養成講座」が開催されました。「短期集中特別講座」の今回は、前半（11月2日～5日）と後半（11月23日～26日）に、計20講座（40時間）が行なわれ、幅広く相続の諸問題を学びます。全国各地から定員の60名を超える申込があり、キャンセル待ちが出ました。参加者の職業は様々です。税理士・不動産業者・司法書士・行政書士・建築士・生命保険会社・FPなど。その多くは、職場に戻れば先生・社長と呼ばれる方です。既に相続のプロと言われる人も再度勉強に来ていました。ご自身の相続問題のために勉強に来た方もいます。教室での受講生の熱気はすごいものでした。講師の話にも熱が入ります。いろいろな年代の人達が、真剣に聴き入ります。そして、相続のプロをめざします。節税対策の知識だけでなく、相続にかかわる心の問題を大切にしながら、もめることのない円満な相続の実現をめざし学びます。懇親会でのスピーチからも、参加者の意識の高さが伝わってきます。

NPO 法人相続アドバイザー協議会は、「相続の研修と実務を通し、自分を磨き、人のお役に立ち、社会に貢献する」ことを理念としています。人から相談を受け支援することを仕事にする者が、謙虚に学ぶことは当り前のマナーです。「謙虚に学ぶ意欲がなくなったら、廃業すべき」が、合言葉です。前半の4日間が終わりました。「素晴らしい講座でした」「もう受講料のものはとりました」「もっと早くに受講しておけばよかった」こうした声をいただきました。こうした団体があることを知っていただけたらありがたいです。

素心塾塾長の池田繁美さんが、「謙虚さがなくなる14の兆候」を次のように記しています。

- ① 時間に遅れだす。
- ② 約束を自分の方から破りだす。
- ③ あいさつが雑になり出す。
- ④ 他人の批判や会社の批判をしだす。
- ⑤ すぐに怒り出す（寛容さがなくなる）
- ⑥ 他人の話を上調子で聞き出す。

- ⑦ 仕事に自信が出て来て、勉強をしなくなる。
- ⑧ ものごとの対応が緩慢になってくる。
- ⑨ 理論派になり出す（屁理屈を言う）。
- ⑩ 打算的になり出す（損得勘定がしみつく）
- ⑪ 自分が偉く思えて、他人が馬鹿に見えてくる。
- ⑫ 目下の人に対しぞんざいになる。
- ⑬ 言い訳が多くなる。
- ⑭ 「ありがとうございます」という言葉が少なくなる（感謝がなくなる）  
その通りだと思えます。自戒をこめて、ご紹介させていただきます。

(2007. 11. 6)

以上